

令和5年度第2回札幌方面岩内警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和5年10月25日（水） 午後3時00分から午後4時15分まで

2 開催場所

岩内警察署 会議室

3 出席者

- (1) 協議会委員 5人（定員7人）
副会長 佐藤千夏
委員 舟見晃、栗栖侑二、藤原富美子
大橋敦子
- (2) 警察署員 7人
署長 下里敬輔
副署長 氏家岐洋
刑生活安全課長 牧祐紀
地域課長 佐藤史暁
交通課長 南祐希
警備課長 眞鍋寛允
警務係長 (庶務担当)

4 議事

(1) 副会長挨拶

(2) 署長挨拶

(3) 協議

ア 懲戒処分者の説明

イ 令和5年度第1回警察署協議会における提言等を踏まえた取組

○委員の要望・意見

4月以降パトカーによるパトロールをあまり見ていないのでパトロールをもっとして欲しい。

○警察の措置

前回協議会以降共和町にレッド駐留場所を指定し警戒等パトロールを実施した。また、9月下旬から土日祝日の午前中に共和町パノラマラインや道々老古美小沢線等においてレッド警戒を実施した。

○委員の要望・意見

地元住民以外の観光客等に災害時の避難場所をもっと周知できるようにして欲しい。

○警察の措置

これまで当署のホームページに避難場所について掲載しているが、各自治体のホームページにたどり着くまで時間がかかっていた。そこで当署のホームページのトップ画面に各自治体にリンクできるボタンを設定し早く分かりやすくした。また、全ての交番、駐在所に防災ガイドマップを設置するとともに避難場所マップを掲示する予定である。

○委員の要望・意見

道々泊共和線に土地に不慣れな観光客が分かるように事故抑止の注意喚起看板を設置して欲しい。

○警察の措置

繰り返し所要の視察、確認等を実施し自治体に働き掛け、自治体により道々泊共和線と町道の交差点に一時停止の看板を4箇所、水松沢トンネルの国富側の出入口と水松沢貯水池付近に速度抑止の注意喚起看板を設置した。

ウ 管内概況の説明

- ・ 犯罪発生、抑止活動状況等
- ・ 地域に根差した取組の推進状況等
- ・ 交通事故発生、抑止活動状況等

(4) 質疑応答

【委員】

避難場所の掲示は観光客が集まる「道の駅」ではできないのか。

【警察】

警察施設における掲示や当署のホームページ掲載を新たに実施したところであり他機関管理の施設等については当該機関の判断による。要望があることは担当者を通じてお伝えしていく。

【委員】

「鹿に注意」の看板設置や「鹿の習性」について周知するなどお願いしたい。

【警察】

鹿事故は12月の本格的な冬の前に増加する傾向にある。限られた期間ではあるが看板設置の可否も含めて広く注意喚起できる方法を検討し実施していく。

【委員】

国富地区はスピードを出す運転手が多く警察で取締り等をしているが、特に早朝や夕方以降の取締りをお願いしたい。

【警察】

限られたパトカーの台数の中で最大限、効果的・効率的に実施していきたい。

【委員】

フェリー埠頭から国道に向かう交差点の感知式信号の感知機が停止線手前に停止した車に反応しないことがあり、赤信号のまま渋滞が起きることがあるので何か対策はとれないか。

【警察】

実態をよく把握した上で必要な対応をしていく。

【委員】

岩内神社前の30km規制の道路が40km規制に緩和されるはずだが、いつになるのか。

【警察】

現在手続き中と承知している。本部に確認して回答したい。

【委員】

道々泊共和線沿いでゴミがよく捨てられると聞くが対処はどうしたらよいか。

【警察】

不法投棄事案として検挙できるものは積極的に検挙していきたい。

5 次回の開催等予定

令和6年2月を予定